

ジオテック地盤プロフェッショナリズム宣言 (すべきことを当たり前、近隣イメージづくりにも貢献)



■宣言1

建築の先陣を切って現場に入る私たちは近隣への配慮を怠りません。清潔で統一感のある服装、無駄のない作業、整理の行き届いた現場を心がけ、建築会社、建て主、住まい手への近隣負担軽減に努めます。



■宣言2

私たちは、施工前の危険度予測活動(KYミーティング)を欠かしません。各現場の危険度を施工チーム全員で点検し、再認識することにより、事故の発生を未然に防ぎ、常に施工精度と品質の向上を目指します。



■宣言3

施工後の撤収作業は、人や車の通行に十分注意し、慎重かつ迅速に行います。施工機や機材の積み出しが完了したところで、隣接道路等の清掃を行ない、泥汚れを後に残さないよう配慮しています。

搬入機材・車輛



施工機

大型回送車

オートプラント



セメント系固化材(左/フレコン1t、右/25kg袋)

給水車

ラフタークレーン

油圧ショベル(バックホウ)

ダンパカー

機材スペック・適用条件

●施工機

寸法	全長5500-7800mm程度、 全幅1900-2100mm程度、 全高2400-2800mm程度
----	---

●大型回送車

説明	施工機の運搬用
寸法	全長7500-9000mm程度、 全幅2300-2500mm程度、 全高2500-3000mm程度

●給水車

適用	仮設水道がなく、水の近隣借用も困難な場合
説明	タンク容量により、2000ℓ/2t、 4000ℓ/4tが一般的
寸法	全長4700-5700mm程度、 全幅1700-2200mm程度、 全高1900-2300mm程度

●ラフタークレーン

適用	吊り込み搬入を必要とする場合
説明	吊り上げ能力により、10t、25t、50t、70t などがある

●プラント設置条件

種別	材料搬送	ユニック車*常駐	車輦スペース	プラントスペース	材料スペース	施工時の目安設置面積
全自動	フレコン1t	必要	常時2×7m	2×6m	1.5×3m	30.5m ² 乗用車3台分
半自動	フレコン1t	必要	常時2×7m	2×5m	1.5×3m	18.9m ² 乗用車2台分
手練	小袋25kg	通常不要	搬入出時2×6m	2×4m	1.5×1.5m	10.25m ² 乗用車1台分

*3tユニック 全長6000-6800mm程度、全幅1900-2100mm程度、全高2500-2700mm程度

●油圧ショベル(バックホウ)

適用	ガラや地中障害物の撤去を必要とする場合など
説明	バケット容積(m ³)により、0.2、0.25、0.4、 0.45などがある
寸法	全幅1900-2300mm程度

●ダンパカー

適用	残土やガラの搬出を必要とする場合
説明	積載荷重により、2-4t、10tなどがあり、 住宅地では2-4tの利用が一般的
寸法	全長4700-5300mm程度、 全幅1700-2200mm程度、 全高2000-2500mm程度

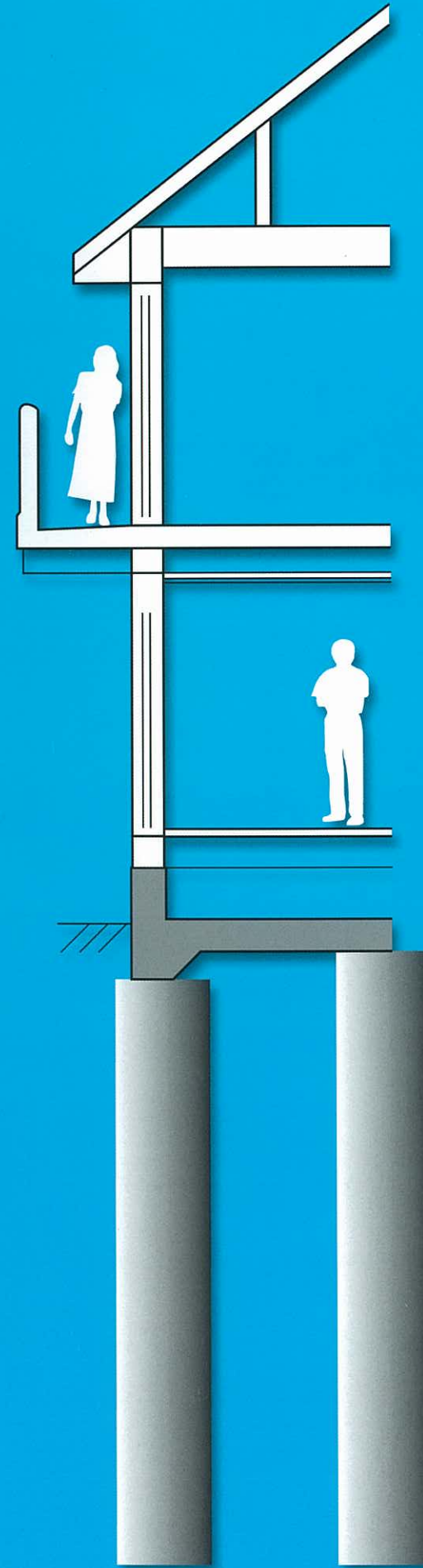
<http://www.jiban.co.jp/>

ジオテック株式会社
〒161-0033 東京都新宿区下落合2-3-18 SKビル
TEL.03(5988)0711(代) FAX.03(5988)0721
<http://jiban.co.jp>

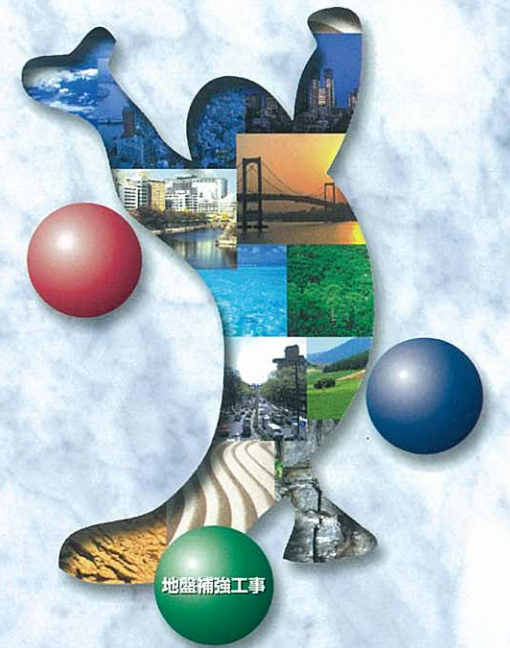


住宅地盤事業本部
ISO9001

ジオテック
フランチャイズチェーン・システム本部



軟弱地盤対策 ジオコラム工法

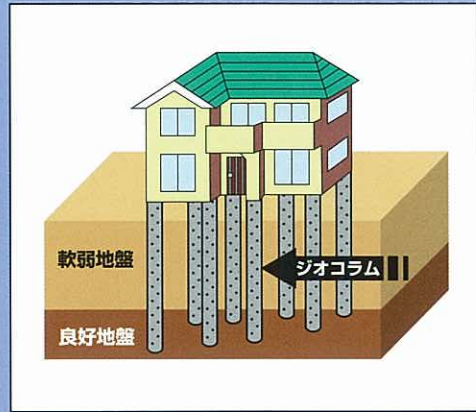


ジオテック株式会社

大切な家を
改良体の柱で支える

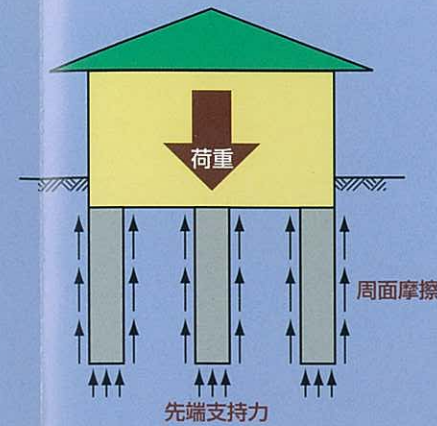
ジオコラム工法

軟弱地盤はジオコラム工法におまかせください。

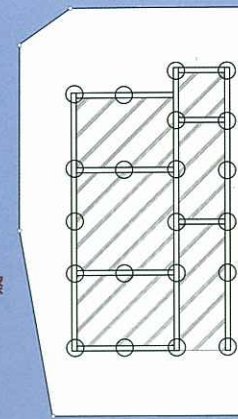


ジオコラム工法とは

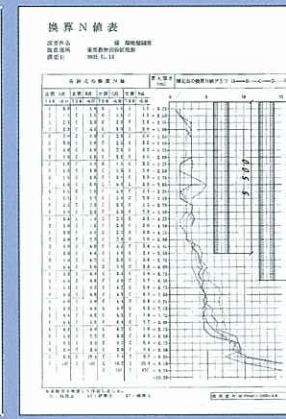
- 厚い軟弱層にも対応可能な適応範囲の広い地盤改良工法です。
- セメントミルクと原地盤の土を所定深度まで攪拌し、地中に柱状の改良体をつくります。
- 径が大きく、周面摩擦を見込めるため、換算N値4程度の先端地盤でも沈下抑止に有効です。
- 複数の計測装置を備えた施工機で、レベルの高い施工を実現します。



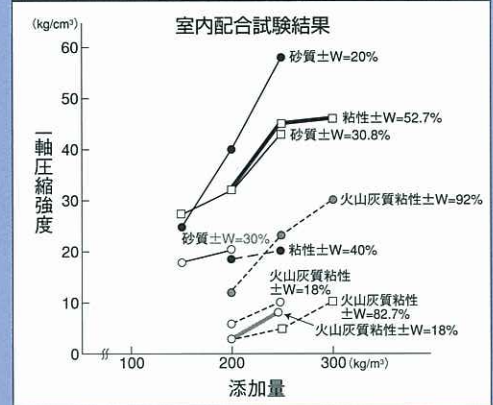
◆改良伏図



◆改良柱状図



セメント系固化材



低騒音、低振動、短期施工で近隣対策も安心

- 1 セメント系固化材と所定量の水を混合して、セメントミルクを作製し、ポンプで施工機に圧送する
- 2 打設位置にセットした攪拌翼の先端からセメントミルクを吐出しながら、地盤に貫入させる
- 3 所定深度までの貫入と引拔を行ない、原地盤の土とセメントミルクを攪拌し、土中に柱状の改良体を作る
- 4 打設後のコラム頭部を杭頭処理用オーガーで削り、所定レベルに調整する



施工管理項目

- 施工管理装置*
- モールドコア**

* 施工機に備わるモニタで施工中の各種計測データを集中管理する。
** 採取したモールドコアを一軸圧縮試験にかけ、強度発現を確認する。

■貫入・引抜

■施工後

■杭頭処理後